

## ASEAN 大使通信 第 11 回 「信頼」と「共創」

2023 年（令和 5 年）10 月 31 日



カオ・キムホン ASEAN 事務総長の岸田総理表敬  
(2023 年 10 月 24 日、内閣広報室提供)

9 月のジャカルタでの ASEAN 関連首脳会議が終わり、12 月の東京での日 ASEAN 特別首脳会議の準備がいよいよ本格化しています。10 月 24 日から 29 日までカオ・キムホン ASEAN 事務総長が訪日しました。岸田総理への表敬、上川外務大臣との会談、観光やスマートシティ分野の日 ASEAN 会合への出席、京都大学での講演など充実した日程で、私も一時帰国して多くの行事に同席させていただきました。

ジャカルタでは、官民連携の日 ASEAN フェアや、ASEAN 各国防災機関の幹部研修、Z 世代の日 ASEAN 起業家交流、ジャカルタ日本人学校（JJS）フェスティバルでの ASEAN 研究発表など各種の行事が開催され、10 月末には田中 JICA 理事長も来訪して、年末の特別首脳会議に向けての機運の高まりを感じました。

一連の行事の機会に日 ASEAN 50 周年の意義について意見交換する中で、キーワードと感じたのが「信頼」と「共創」です。今回の大使通信では、今月の行事や成果を皆さんにご紹介するとともに、日 ASEAN の「信頼」と「共創」の重要性について一緒に考えていきたいと思えます。



日 ASEAN フェア開会式（2023年9月30日、ASEAN事務局提供）

## ●日 ASEAN フェアと JABOT

9月30日（金）から10月2日（日）までの週末に、ジャカルタ市内のプラザスナヤンで「[日 ASEAN フェア](#)」が開催されました。これは、日 ASEAN 協力の意義と成果について、一部の関係者のみならずジャカルタに在住する一般の人たちや子供たちにも広く知ってもらおうと、官民連携で企画したものです。

初日の[開会式](#)（[動画](#)）には、テネ ASEAN 事務次長や、対日調整国タイのウラワディ常駐代表をはじめ多くの ASEAN 各国常駐代表の出席を得て、[太鼓の演奏](#)やブース展示を楽しんでいただきました。日 ASEAN 協力を若い世代にアニメで知ってもらおうマスコット「[JABOT](#)」（[アニメ](#)）も、この機会に発表しました。

ブースやステージでは、アメルタインダ大塚、イオンディライト、グリコ、Jトラスト銀行、ファーストリテーリング（ユニクロ）、丸紅、八千代エンジニアリングなどの民間企業や北海道庁、JICA、国際交流基金などの政府機関がリサイクルやインフラ・観光などの展示・発表を行いました。JABOT のスタンプラリーは子供たちに大人気でした。

今回のフェアには3日間で1,000人以上が来訪したとのこと。私たちの身近な場で、日 ASEAN 協力が持続可能な開発目標（SDGs）に貢献していることを理解いただけたのではないかと思います。ご協力いただいた企業・団体の皆様に改めて感謝申し上げます。



ACE プログラム開講式（2023 年 10 月 4 日）

### ●防災分野の人材育成と日 ASEAN 防災閣僚級会合

10 月 4 日にはジャカルタの市内ホテルで、ASEAN 防災人道支援調整センター（AHA センター）の幹部研修コースである緊急防災リーダーシップ事業（ACE-LEDMP）の開講式に出席しました。開講式にはエカパープ ASEAN 事務次長、リーAHA センター所長も臨席し挨拶しました。今回は対象が若手職員 20 名で、既にオンラインで約 2 か月の研修を受講しており、今後約 1 か月半のジャカルタでの研修と 1 週間の訪日研修が予定されているとのことでした。

ASEAN 各国の防災機関から英語が堪能で優秀な若手が選抜・派遣されており、国毎の災害や対策の実情について、各研修員からの的確な説明を受けました。ASEAN の防災機関職員が数か月も一緒に研修を受け、防災先進国の日本も訪問することは将来への大きな資産です。2014 年の ACE プログラム開始後の受講者は約 120 名にのぼり、今も ASEAN 各国で活躍しています。



ASEAN-Japan Ministerial Meeting on Disaster Management (AMMDM+Japan)

また、10月12日にベトナムのハロン湾で開催された[日 ASEAN 防災閣僚級会合](#)には堀井学内閣府副大臣が出席、50周年記念式典で[協力実績の動画](#)が紹介された他、[JICA](#)や[アジア防災センター](#)がAHAセンターと協力覚書を結びました。



日 ASEAN・Z世代ビジネスリーダーズフォーラム・プレイベント  
(2023年10月18日)

●Z世代の起業家交流からコミュニティ形成へ

10月18日～19日、インドネシア・ジャカルタで、[日 ASEAN・Z世代ビジネスリーダーズサミットのプレイベント](#)が開催されました。

ASEANは世界の成長センターである一方、依然として格差など様々な社会課題を抱えています。また、日本は少子高齢化などの課題を抱える一方、これまでの成長の過程で培った経験や資産を有しています。こうした背景のもと、社会課題への強い問題意識を持って自ら行動を起こす、日本とASEANの若手のビジネスリーダーの「つながり」を創り、新たな変革の担い手を育成することが急務との考えから、日ASEAN友好協力50周年を機に、今回のプレイベントが初めて開催されたものです。12月には長野県軽井沢町でサミットが開催予定です。

開会式ではASEAN事務局、ASEAN基金、JETRO、ERIAの代表者とともに挨拶し、ネットワーキング夕食会で多くの参加者と意見交換させていただきました。[ASEAN・日本の参加者](#)とも、自ら行動を起こし実績を上げている起業家や社会起業家の皆さんで、次世代の社会変革に向けてのエネルギーを感じました。

「日ASEAN・Z世代リーダーズコミュニティ」の[ウェブサイト](#)が既に立ち上がっています。今回の行事はNHKでも[報道](#)されました。今後、この起業家交流のコミュニティが大きく発展し、新たな時代を牽引するよう願っています。

*(To be continued next page)*



ジャカルタ日本人学校（JJS）フェスティバルでのASEAN ブース出展  
（2023年10月13日）

### ●ジャカルタ日本人学校（JJS）フェスティバル

10月21日、[ジャカルタ日本人学校（JJS）フェスティバル](#)を視察しました。中学3年生は日本とASEAN・インドネシアの関係強化をテーマに総合学習を行っており、今回、成果を発表するためにブースを出展していました。

4クラスが日本、インドネシア、ASEANの各々に焦点を当てていました。日本ブースは、縁日の様々な魅力を取り上げていました。インドネシア・ブースはジャングル探検を通じての生態紹介です。ASEANブースは2クラスあり、ASEANすごろくや独自通貨のデザイン、レベル別クイズや各国の観光名所紹介など盛りだくさんでした。更に、ASEAN会議で発生した事件からの脱出ゲームもあり、謎解きをしながらASEANについて楽しく学ぶ、工夫満載の内容でした。

総合学習の授業で先月取りまとめた[提言と行動宣言](#)を踏まえ、今回の行事で各クラスの生徒が自ら考え発表していたことを嬉しく思いました。日本とASEANの将来は、次世代の子供たちの交流と協力にかかっています。これからも後押しをしていきたいと思えます。



上川外務大臣とカオ・キムホン ASEAN 事務総長の会談  
(2023 年 10 月 24 日、外務省提供)

### ●カオ・キムホン ASEAN 事務総長の訪日

10 月 24 日から 29 日まで、カオ・キムホン ASEAN 事務総長が訪日しました。[日 ASEAN・スマートシティ・ネットワークハイレベル会合](#)と[日 ASEAN 観光大臣特別対話](#)への出席に加えて、特別首脳会議の 1 か月半前ということで各種会合や行事や行われ、私も一時帰国して多くの日程に同行しました。

[岸田総理への表敬](#)では、特別首脳会議に向けて準備を加速するため、緊密に協力していくことで一致しました。また、[上川外務大臣との会談](#)では、特別首脳会議のカウントダウンボードの点灯式に続き、特別首脳会議の目標や成果、具体的な協力案件の形成などについて意見交換を行いました。

京都大学は 1963 年に[東南アジア研究センター](#)（現在は東南アジア地域研究研究所）を設置して今年が 60 周年に当たり、[日 ASEAN 科学技術イノベーション共同研究拠点（JASTIP）](#)など様々な取組を進めています。今回、カオ事務総長は同大学で湊総長との意見交換と[講演](#)を行い、ASEAN や日本の学生・研究者と活発な質疑がありました。

[国際交流基金](#)では梅本理事長と会談し、人的・知的交流の強化について意見交換を行うとともに、日 ASEAN50 周年を記念して ASEAN ギャラリーに [ASIAN ELEVEN サッカー交流](#)のユニフォームが寄贈されました。NHK ニュースでも、[外務大臣との会談](#)、[観光大臣特別対話](#)、私へのインタビューが報道されました。



JICA 理事長と ASEAN 事務局の意見交換（2023 年 10 月 30 日）

### ● 「信頼」と「共創」

今月、一連の行事・会談に出席し、12 月の日 ASEAN 特別首脳会議に向けて重要と感じたメッセージは「信頼」と「共創」です。日本と ASEAN には、これまで 50 年にわたる心と心のふれ合う交流・協力を通じて築き上げてきた「信頼」を基盤に、様々な社会課題への解決策を共に創り出す「共創」に取り組み、地域と世界に貢献する大きな可能性があります。これは、日 ASEAN 友好協力 50 周年のキャッチフレーズ「[輝ける友情 輝ける機会](#)」とも軌を一にするものです。

10 月 30 日、田中明彦 JICA 理事長がジャカルタを訪問した際に、ASEAN 事務局のビン事務次長、エカパープ事務次長、リム連結性局長及び ERIA のリロ上級経済アドバイザーと意見交換を行いました。来月 9 日には東京で[日本 ASEAN 友好協力 50 周年記念 JICA シンポジウム](#)が開催され、カオ・キムホン事務総長がビデオメッセージを寄せる予定です。

JICA は「[信頼で世界をつなぐ \(Leading the world with trust\)](#)」を組織のビジョンとして掲げています。日本と ASEAN も、深く強い「信頼」を基盤に未来に向けた「共創」を通じて世界をつなぎ、様々な課題を解決するよう願っています。私自身もその実現に向けて、年末の特別首脳会議に向けて一層努力する決意です。引き続きご支援・ご協力いただければ幸いです。

ASEAN 代表部大使  
紀谷昌彦